

会 議 録

会議録	令和元年度 第1回 豊田市公共交通会議
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) 基幹バスにおける特別運賃の設定について（1日乗車券）</p> <p>(2) 地域公共交通確保維持改善事業について</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) 地域バスの路線改編について</p> <p>① 藤岡地域バス（路線定期運行）</p> <p>② 足助地域バス（路線定期運行）</p> <p>③ 下山地域バス（区域運行）</p> <p>④ 稲武地域バス（区域運行）</p> <p>(2) とよたおいでんバス 遅延情報のGoogle マップへの掲載について</p> <p>(3) とよたおいでんバス イベントに伴う増便について （豊田おいでんまつり、旭やまびこ花火大会）</p> <p>(4) とよたおいでんバス イベントに伴う迂回運行について</p> <p>(5) おばら桜バスにおけるオンデマンドバスの実証実験について</p> <p>(6) たすけあいプロジェクトについて</p> <p>(7) とよたおいでんバスの利用促進について</p> <p>(8) 平成30年度バス利用状況について</p> <p>4 その他</p> <p>・次回会議の開催予定について 8月19日（月）14時から</p> <p>5 閉 会</p>
日 時	令和元年6月26日（水） 午前9時30分～午前11時00分
場 所	豊田市役所 南庁舎7階 南73委員会室

<p>出席者 (敬称略)</p>	<p>【委員】 野田 宏治 (豊田工業高等専門学校) 上井 久仁彦 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局) 岩月 康男 (愛知県豊田加茂建設事務所維持管理課) 林 孝臣 (愛知県豊田加茂建設事務所足助支所管理課) 柿本 竜一郎 (愛知県警察足助警察署) 栗本 光太郎 (豊田市都市整備部) 三宅 利幸 (豊田市区長会) 釘宮 順子 (豊田市ボランティア連絡協議会) 阿部 利恵 (豊田市 PTA 連絡協議会) 大竹 宏 (愛知県タクシー協会) 小林 裕之 (愛知県バス協会) 毛利 康浩 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会) (代理：大橋) 浅野 直宏 (名古屋鉄道株式会社) 吉岡 実 (名鉄バス株式会社) 境 政義 (豊栄交通株式会社) 寺澤 秀樹 (愛知環状鉄道株式会社)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p>
<p>資料</p>	<p>1. 次第 2. 令和元年度 第1回 豊田市公共交通会議 会議資料</p>

【協議案件】

(1) 基幹バスにおける特別運賃の設定について (1日乗車券)

- 事務局 【資料1】に基づき説明。
- 委員 チラシやポスターによるPRは行わないのか。スマホに不慣れな世代もいるのでチラシなどで広くPRしてほしい。
- 事務局 チラシなど作成しPRしていく。企画きっぷはこれから提携施設、店舗との調整をする必要があり、紙券面の乗車券は印刷などのスケジュールがあわずスマホのみの企画となる。今回は、特にラグビーワールドカップで来訪される観光客に利用されることを期待している。
- 委員 紙券面の乗車券にもぜひ企画きっぷを用意してほしい。
- 事務局 紙券面の乗車券はスケジュールがあわず見合わせたが、今回のトライアルの状況を検証し検討していきたい。
- 委員 販売所について。一宮の1日乗車券は市の施設やバス車内でも販売している。市街地まで来ないと買えないのでは、地域から乗った人の利便性が上がらない。バスが運行している時間内はバスの車内で販売できないか。
- 事務局 販売所については、現在のN6以外でも販売できるよう調整中である。車内販売については、運転手への負担がかかるということで運行事業者の意見がそろわず実施することができないが、課題であるという認識はある。今後も粘り強く各運行事業者と調整を続けていきたい。
- 委員 モデルコースはお得感を与えるために目的地が遠いコースが掲載されているが、きっかけはラグビーワールドカップの開催であり、市街地、例えばスタジアムと美術館とのコースなども打ち出していただけるとよい。
- 事務局 今回設定したモデルコースは、滞在者に少し遠出をしていただくことを想定して設定している。中心市街地の観光スポットには比較的安価にバスを利用して行くことがで

きるため、まちなかのコースは今回の企画が軌道に乗った後めぐり方などを検討していきたい。

○委員 豊田市内には様々なイベント企画があり、多くの人が豊田市に訪れる。車内広告などいろいろな手段を使ってPRしてほしい。

○事務局 今後の参考にさせていただく。

○委員 昨今の運行に対する乗務員の安全対策の重要性を鑑み、車内販売については実施しない方向で事務局と調整をさせていただいた。インバウンドを見込んだ実証実験という中で、我々もどの程度対応できるのか検証する中で今後活かしていきたい。

○委員 乗務員の負担については理解できるが、とはいえ当日車内で1日乗車券を求められることも想定される。そういう利用客への対応策や販売所の周知をしっかりとお願いしたい。

○事務局 しっかり対応していきたい。

○委員 1日乗車券の対象が土日祝であり事務局は休みだが、利用者からのお問合せ先はどこになるか。

○事務局 各運行事業者が窓口となる。

<協議結果：全員承認>

(2) 地域公共交通確保維持改善事業について

○事務局 【資料2】に基づき説明。P4～5の差し替えと平成30年度申請分の訂正説明。

○委員 昨日、本申請に関する添付資料の一部様式が変わったため県内の市町村に情報提供を行った。内容としては、補助金の上限額の算定方式が国土交通省から事前に示されないため、年度が終了した後実績ベースで算定するという形に変わっている。それも含めて、6月28日までに愛知運輸支局に提出していただきたい。

○事務局 了解した。

<協議結果：全員承認>

【報告案件】

(1) 地域バスの路線改編について

① 藤岡地域バス

○事務局 【報告1-1】に基づき説明。
意見等なし。

② 足助地域バス

○事務局 【報告1-2】に基づき説明。
○委員 ダイヤ改正をし、実際にこのダイヤ通りに運行しているのか。
○事務局 問題なく運行している。

③ 下山地域バス

○事務局 【報告1-3】に基づき説明。
意見等なし。

④ 稲武地域バス

○事務局 【報告1-4】に基づき説明。
意見等なし。

(2) とよたおいでんバス 遅延情報の Google マップへの掲載について

- 事務局 【報告2】に基づき説明。
意見等なし。

(3) とよたおいでんバス イベントに伴う増便について（豊田おいでんまつり、旭やまびこ花火大会）

- 事務局 【報告3】に基づき説明。
- 委員 イベントの際、交通規制による渋滞が発生し遅延が多く見込まれる。その対策をお願いしたい。
- 事務局 イベント主催者とともに協議していく。
- 委員 豊田おいでんまつりは花火大会の日のみの増便だが、土曜日の踊りの日には増便はしないのか。踊りの参加者が増える可能性もあるため、今年の様子を見ながら踊りの日の増便も検討していただけるとよい。
- 事務局 今後、必要に応じて検討していく。
- 委員 増便の情報も Google に掲載されるとよい。
- 事務局 調整させていただく。
- 委員 保見・豊田線の利用者が55人と多かったため、大型の車両で対応していただきたい。
- 事務局 今年の実績を見て、大型の車両で対応できるよう調整したい。

(4) とよたおいでんバス イベントに伴う迂回運行について

- 事務局 【報告4】に基づき説明。
- 委員 実施済みのイベント時の様子は。
- 事務局 特に問題なく迂回運行した。

(5) おばら桜バスにおけるオンデマンドバスの実証実験について

- 事務局 【報告5】に基づき説明。
- 委員 システム導入にあたり、小原地区の住民への講習会などは実施したか。
- 事務局 数回実施した。
- 委員 参加者の評価はどうだったか。
- 事務局 その場での利用は可能だった。現在 iPhone 限定の利用のため、今後 android に拡大する際にはまた説明会などを開催する予定である。

(6) たすけあいプロジェクトについて

- 事務局 【報告6】に基づき説明。
- 委員 ボランティアドライバーは何人ほどいるか。
- 事務局 現在40人ほどである。
- 委員 高齢者向けの施策として、運転免許証の返納者にタクシー券などをもらえる制度はあるのか。
- 事務局 そのような制度はないが、タクシー協会による利用率1割引という制度はある。

(7) とよたおいでんバスの利用促進について

- 事務局 【報告7】に基づき説明。P28の1日共通乗車券について、9、10月の土日祝のみの実施であることを訂正。
- 委員 自転車積載用ラックには保安基準があるため、関係機関と協議・相談確認しながら実施していただきたい。

○事務局 承知した。

(8) 平成30年度バス利用状況について

○事務局 【報告8】に基づき説明。

○委員 利用者が増加、減少している路線の理由は。

○事務局 増加している下山・豊田線、豊田・渋谷線については、昨年名鉄バス自主路線の九久平線及び東山住宅線の廃止に伴い、おいでんバスの2路線で一部代替したためと思われる。減少した藤岡地域バスについては、路線周辺の人口減少及び利用していた学生の減少と見ている。

○委員 高齢者年間パスのような制度は検討しているか。

○事務局 民間と比べおいでんバスの運賃は安い設定になっており、現在は年間パスのような制度は考えていないが、市全体で高齢者の移動のあり方を検討する中で、公共交通の割引制度だけでなく、総合的な課題として検討する中で考えていきたい。

4 その他

○事務局 次回、会議の開催予定について
令和元年8月19日(月) 14時からを予定。

以上